

## 仮設住宅入居者支援の取り組み



平成28年10月18日  
復興部住宅再建支援課

1

## 1 平成28年熊本地震の特徴

資料4

### (1) 観測上、初めて震度7が続いた

**前震** 2016.4.14 21:26  
マグニチュード: 6.5  
**最大震度: 7** (益城町)  
震度6弱 (東区、西区、南区)  
震度5強 (中央区、北区)

**本震** 2016.4.16 1:25  
マグニチュード: 7.3  
**最大震度: 7** (益城町、西原村)  
震度6強 (中央区、東区、西区)  
震度6弱 (南区、北区)

### (2) 余震発生回数が多い

地震回数 **4,081**回 (H28.10.10現在)  
震度6以上 7回

2

## 2 熊本市の被害概要

### (1) 人的被害 (平成28年10月4日現在)

死者 : **45**人 (震災関連死含む)  
行方不明者 : **0**人  
重傷者 : **608**人

### (2) 住家被害 (平成28年9月30日現在)

**10万4,894**件

(内訳)

全壊 : **5,486**件 大規模半壊 : **8,407**件  
半壊 : **30,510**件 一部損壊 : **60,491**件

3

### (3) 避難所及び避難者数

- 最大避難者数 4月17日 **110,750**人
- 最大避難所数 4月21日 **267**箇所



**全避難所閉鎖 9月15日**

#### 避難者対応の課題として...

##### 車中泊

避難者のうち、**39.2%**が自家用車で車中に避難



・長期の車中泊で、エコノミークラス症候群のリスクが高まった

・車中泊者の把握ができず、必要な情報提供等ができなかった

4

### 3 被災状況



頼当御門内 石垣  
◆石垣崩壊



東区健軍商店街  
◆建物倒壊



東区秋津町  
◆護岸の崩壊



(市) 蓮台寺町第13号線(平田高架橋)  
◆架橋横断方向に複数の亀裂

### 4 熊本市の被害額

被害額試算 (平成28年8月31日時点推計値)  
**16,362.9億円**

(内訳)

公共施設 (庁舎、市営住宅、学校、社会教育施設等) 380.4 億円

インフラ施設 (河川、道路、橋梁、公園、上下水道等) 270.8 億円

農作物等への被害 187.5 億円

社会福祉施設 (医療施設、介護・福祉施設等) 455.5 億円

住宅関係の建築物 (医療施設、介護・福祉施設等) 12,121.5 億円

### 5 被災者支援

(1) 各種義援金、見舞金等 (平成28年9月30日現在)

	申請件数	支給件数	支給率	支給額等
災害弔慰金	138 件	47 件	34.1%	138 百万円
災害障害見舞金	13 件	0 件	0.0%	0 百万円
災害見舞金	43,776 件	40,192 件	91.8%	1,310 百万円
災害義援金	43,551 件	39,929 件	91.7%	18,199 百万円
被災者生活再建支援金	15,156 件	14,964 件	98.7%	10,381 百万円
災害援護資金の貸付	276 件	212 件	76.8%	341 百万円
合計	102,910 件	95,344 件	92.6%	30,369 百万円

## (2) 住居の提供 (平成28年9月30日現在)

種別	募集・提供戸数	入居戸数
プレハブ仮設住宅	496戸	496戸
民間賃貸住宅借上(みなし仮設)	6,306戸	5,578戸
市営住宅(要援護者への優先提供を除く)	250戸	152戸
要援護者への優先提供	601戸	452戸
市営住宅	448戸	345戸
特定優良賃貸住宅	54戸	40戸
サービス付高齢者向け住宅	15戸	8戸
国家公務員住宅	84戸	59戸
雇用促進住宅(市内のみ)	314戸	125戸
合計	7,967戸	6,803戸

9

## みなし仮設とは

半壊※以上の家屋被害を受けた世帯に、熊本市が民間賃貸住宅を借り上げ提供

※半壊の場合、解体・撤去や済み続けることが危険な程度の傷みにより居住できない場合に限る

- ・入居期間：最長2年間

## 公営住宅等とは

市営住宅、特定優良賃貸住宅、サービス付高齢者住宅を、住宅に困窮されている要援護者(要介護者や障がい者、妊婦など)に提供

- ・入居期間：市営住宅、特定優良賃貸住宅は6ヶ月以内  
(必要に応じて1年間まで可)  
サービス付高齢者住宅は最長2年間

10

## (3) 応急仮設プレハブ住宅 (平成28年10月6日現在)

	住宅名	戸数	集会所 談話室
南区城南町	塚原仮設住宅	96	1
	さんさん2丁目	16	0
	藤山仮設住宅	150	3
	舞原仮設住宅	87	2
	藤山第二仮設住宅	45	1
南区富合町	平原仮設住宅	27	1
	南田尻仮設住宅	28	1
東区	秋津中央公園仮設住宅	54	1
	東町仮設住宅	38	1
	9ヶ所	541戸	11ヶ所

11

## 6 応急仮設住宅入居者への支援

### (1) 仮設住宅等入居者の実態調査

- ①開始時期：6月～
- ②対象：プレハブ仮設、みなし仮設、市営住宅等の入居者
- ③方法：戸別訪問による聞き取り調査
- ④内容：災害見舞金等、各種支援メニューへの申請状況  
震災による家族構成、収入状況の変化  
心身の健康面で不安に感じていること  
自治会等への加入状況  
今後の住まいについての意向 等

12

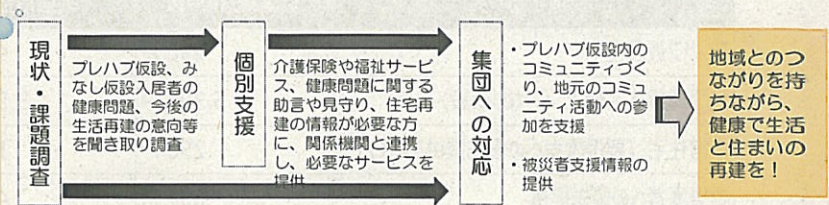
## (2)入居者の状況 (平成28年10月現在)

	プレハブ仮設	みなし仮設	公営住宅等	市全体
世帯数	496 世帯	3,393 世帯	614 世帯	333,356 世帯
人口	1,287 人	7,971 人	1,150 人	733,453 人
高齢者数	557 人 (43.3%)	2,288 人 (28.7%)	418 人 (36.3%)	180,086 人 (24.6%)
65～74歳	257 人 (20.0%)	1,272 人 (16.0%)	210 人 (18.3%)	90,075 人 (12.3%)
75歳以上	300 人 (23.3%)	1,016 人 (12.7%)	208 人 (18.1%)	90,011 人 (12.3%)
一人暮らし 高齢者世帯	202 世帯 (40.7%)	973 世帯 (28.7%)	180 世帯 (29.3%)	-
乳幼児数 (6歳未満児)	43 人 (3.3%)	415 人 (5.2%)	53 人 (4.6%)	41,292 人 (5.6%)

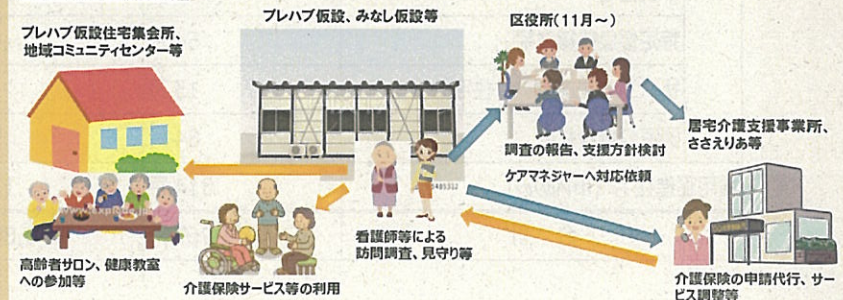
※「公営住宅等」は、市営住宅の他、国家公務員住宅、特別優良賃貸住宅を含む  
 ※みなし仮設・公営住宅等は、契約時の年齢より算出

13

## <事業のイメージ-2>



### <支援のイメージ>



14

## (4)集会所・談話室等の活用



- 仮設入居者の自立生活とつながりづくりのため、各仮設住宅で自治組織を設立
- 入居者同士の交流と支援の取り組みを検討するため、仮設住宅内の自治組織、関係機関、NPO、区役所等の連携会議を開始
- 関係者が連携して、高齢者サロンや健康教室、イベント等を実施

15

## 7 地域コミュニティの役割

- プレハブ仮設入居者は、市社協による見守りや、仮設の自治組織、関係機関の連携によるコミュニティ活動が行われ、支援が届きやすい。

一方で…

みなし仮設入居者は、専門機関による個別支援が中心で、地域とのつながりが少なくなりやすい。

隣人、地域の方々とのつながりづくり  
(健康まちづくり)

被災により各校区(地域)に転居されてきた方も  
気軽に参加できる「まちづくり活動」を!

16